

高松塚壁画館 秋の企画展示

古代寺院跡出土の壁画

—古墳壁画の成立と寺院壁画との関係—

今回の秋季企画展は、古代寺院跡から出土した壁画片を特集しました。古代寺院の内部が壁画によって荘厳されたことは、少ない事例にとどまりますが壁画を描いて仏教世界を表現しました。現在まで知られている寺院跡は奈良県内に集中し、桜井市山田寺跡、同安倍寺跡、斑鳩町法隆寺若草伽藍跡、奈良市大安寺跡などです。この他には、大阪府柏原市田辺廃寺跡、京都府大山崎町山崎院跡、滋賀県高島市日置前遺跡、鳥取県米子市上淀江廃寺跡などです。

キトラ・高松塚古墳壁画の成立は、寺院壁画を制作した画工たちの手によることは、画題は違っても制作技法や絵画表現などが共通するようです。

●展示期間(会期中無休)

平成 30 年 9 月 22 日(土)

～平成 30 年 11 月 30 日(金)

●開館時間

午前 9 時 00 分～午後 5 時 00 分

(入館は午後 4 時 30 分まで)

●入館料

大人 250 円

学生 130 円(高校・大学)

小人 70 円(小学・中学)

●展示会場 高松塚壁画館

奈良県高市郡明日香村平田 439

Tel0744-54-3340

●解説講座

高松塚壁画館学芸員 泉 武

「古代寺院跡出土の壁画—古墳壁画の成立と寺院壁画との関係—」

日 時 9 月 24 日(月)13 時 30 分～14 時 30 分

講座会場 飛鳥歴史公園館 2 階視聴覚室



上淀廃寺跡「神将」甲の壁画片

協賛 パナソニック(株)、奈良交通(株)、(株)近鉄・都ホテルズ、(株)近畿リテーリング、近畿日本鉄道(株)